

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第2回 草の根活動支援事業・災害支援事業

1. **日時**：2022年1月12日（水） 開会 13：30－閉会 15：30
2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom
3. **審査委員（敬称略）**
 - ・ 深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）[委員長・議長]
 - ・ 菅野拓（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）
 - ・ 山内明子（生活協同組合コープみらい常務理事）
 - ・ 山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）
 - ・ 米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
 - ・ 審査事務局：JANPIA

4. 議題

2021年度通常枠 第2回草の根活動支援事業・災害支援事業の審査

5. 申請の状況

- (1) 草の根活動支援事業：18団体 18事業
- (2) 災害支援事業：3団体 4事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、草の根活動支援事業、災害支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員5名の出席により、審査委員長が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・菅野拓
—特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム

- ・米田佐知子
—一般社団法人全国食支援活動協力会

災害支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の3事業

以下の事業については、審査に加わった全審査委員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム(防災・減災)
- 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム(緊急災害)

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 地域創造基金さなぶり
 - ・ 組織運営基盤などの実施体制づくりは事業を円滑に回すうえで重要であるため、ベテラン PO から新規 PO へのノウハウ移転や団体内での事業運営能力の更なる向上について、具体的な業務を通じて丁寧に人材育成を図りつつ、課題解決に取り組んでいただくことを期待する。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の1事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 特定非営利活動法人 ACOBA

草の根活動支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多い

ものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の5事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

■ 一般財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 一般社団法人全国コミュニティ財団協会

- ・ 事業の実施にあたっては、行政の枠組みでは対応が難しいと考えられる特定地域の重点課題に焦点をあて、その分野の起業家数が増加するような仕組みづくりによって、地域課題の解決が誘発される仕組みづくりとなるようお取り組みいただけることに期待する。

■ 公益財団法人みらいファンド沖縄

- ・ 事業実施にあたって、まずは実行団体の公募も幅広く実施いただき、そこで選定された実行団体に対しては、出口戦略、アドボカシーへの伴走支援等を十分に行うなど、本事業の目指す課題解決にしっかりとつなげていただくことを期待する。

■ 一般財団法人筑後川コミュニティ財団

- ・ 行政へのアドボカシーにおいては焦点が絞られ、実現可能性高い提言を取りまとめるために専門性の向上と深化が重要であると考えられ、テーマを絞って(一つのテーマを選択して)の事業実施、実行団体の選定等について検討をいただく必要があると思われる。この点は、採択にあたっての条件とする。

■ 特定非営利活動法人北海道 NPO ファンド

- ・ 事業実施にあたっては、課題解決に向けた出口戦略について資金分配団体として仮説を持ち、実行団体をリードしていくことが必要であると思料します。

.

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の4事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 一般財団法人未来基金ながさき
- 一般社団法人全国フードバンク推進協議会
- 特定非営利活動法人おっちラボ
- 一般社団法人全国食支援活動協力会
- 公益社団法人日本サードセクター経営者協会
- 特定非営利活動法人 碧いびわ湖
- 益財団法人お金をまわそう基金
- 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構
- えひめグローバルネットワーク
- 一般財団法人人生 100 年社会デザイン財団
- 一般社団法人地域づくり支援機構
- 一般社団法人バイオビジネス創出研究会
- 近畿環境市民活動相互支援センター

以上

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第2回 ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業

1. **日時**：2022年1月14日（金） 開会 13：30－閉会 15：30
2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・ 高原康次（グロービス大学院 講師） [委員長・議長]
- ・ 功能聡子（ARUN 合同会社代表）
- ・ 町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）

〈手元審査を実施した委員（審査会議は欠席）〉

- ・ 永沢映（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）

4. 議題

2021年度通常枠 第2回ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業の審査

5. 申請の状況

- (1) ソーシャルビジネス形成支援：3団体 3事業
- (2) イノベーション企画支援：3団体 3事業

6. 議事的前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、イノベーション企画支援事業、ソーシャルビジネス形成支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 3名の出席により、審査委員長が議長を務め、審査を行った。 議事において

は、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・町井則雄

—公益財団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

イノベーション企画支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 1 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 一般社団法人グラミン日本

- ・ 実行団体による課題の深堀り、受益者の絞込みや具体化を通じ解像度高く社会実装できることが望まれる。そのうえで貴団体の対外的な情報発信力にも期待する。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 2 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 特定非営利活動法人こどもたちのこどもたちのこどもたちのために

■ 青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社

ソーシャルビジネス形成支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 1 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 一般社団法人 SINKa

- ・ 事業の実施にあたり、課題の難易度を適切に選ぶことで、事業の実効性が高まると思料する。公益性、公共性が高い事業という点から収益性をどのように生み出すのかなど、今後の工夫した取組が期待される。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の2事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 株式会社 CAMPFIRE SOCIAL CAPITAL
- 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

以上